

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年3月15日

事業所名 放課後等デイサービスきぼう東岩槻

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		1	2部屋あるため、チームや内容ごとに分けて適宜使っています。	
	2	職員の配置数は適切である	3	1	2	小集団にしたり、近隣の別事業所と連携を取り体制を整えています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2	3	玄関に段差がありますが、車椅子の児童の対応ができています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			送迎後に振り返りの時間を作り、その日の出来事を話し合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			毎年アンケートの提出をお願いします。昨年度の結果をもとに、職員間で周知するようにしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			当社HPIに掲載しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	1	本社に設置されています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			社内研修の機会が充実しています。また、外部研修にも積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			最も重視しています。年1回保護者面談を実施、電話や送迎時にも話をさせていただき、支援計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			ICFを用いたり、発達段階アセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			リーダー職員を配置し、プログラムを立案しています。その後、活動に入る前に打ち合わせをし、職員全員で相談をしています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			前庭覚・固有覚など、刺激入れを中心に、意図をもってプログラムを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		課題を決め、定期的に変更を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			会議にて話し合い、必要に応じて個別活動も取り入れている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			必ず行っています。支援目的や留意事項等を確認し、支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			送迎後に振り返りを行っています。内容は職員全員が周知できるように、記録に残しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			毎日記録に残し、すぐに振り返り確認が出来るようにしています。また、防犯カメラがあるため、必要に応じて映像を見て検証しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			支援計画書作成時にはモニタリングを行っています。また、必要に応じてこの期間に限らず行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			管理者・主任を中心に参加しています。また事前に、事業所内で情報共有し、参加しない職員の見解も反映させています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			利用予定表・連絡帳・LINEを使い、保護者と連絡体制を整えています。また、学校からも予定表や手紙をもらい把握しています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		1	該当児がいた時には、そのようにしています。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	1	そのような機会があれば行っています。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		1	研修の機会があれば参加させていただいています。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1		公園・児童館などで交流する機会はあります。		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		2	岩槻区で開催している地域部会・子ども部会などに積極的に参加している。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時に直接伝えていきます。具体的に且つ分かりやすいように伝えていきます。		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		2	送迎時や面談時、ご相談に応じて、困った時に家庭内で対応や解決に繋げられるようにペアトレの観点からお話をさせていただいています。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			サービス契約時に行っています。また、疑問や不明点などご質問があれば、都度ご説明させていただいています。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			随時相談に応じています。送迎時や電話だけでなく、LINEも活用しているため、気軽に相談していただける体制を整えています。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している				コロナ渦のため実施なし		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			出来る限り早急に調整し、時間がかかりそうな時は調整出来次第ご連絡しています。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			今年度より、事業所での様子が分かるように「きぼうだより」を配布しています。		
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報ファイルは鍵付きのロッカーに保管しています。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			子どもの意見をくみ取れるよう待ってみたり、行動を注視しています。保護者へ伝える時は、連絡帳や電話、LINEで伝えていきます。その際には、共通認識がかけられるように気をつけています。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3	コロナ渦のため、地域の方を招くようなイベントは行えていません。		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			職員室に設置してあります。感染症については、保健所の指示のもと動いています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			災害や地震・洪水等を予測した避難訓練を定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		1	年に1回、施設内で虐待防止研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			契約時にご説明させていただいています。また、別紙で同意書をいただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	2	現在おやつを提供はしていませんが、契約時にお伺いし職員全員で周知しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			各事業所ごとに事例集を作成し、事業所全体で共有しています。	